

令和 5 年度 施策評価表

施策	2001	環境保全の推進	施策担当部	市民環境部	部長	石山 光昭
			施策担当課	環境保全課	課長	白石 勝己
施策の方針	地球温暖化対策を推進するとともに、豊かな自然環境の保全や自然を活かした環境教育に努める。					
関連するSDGsのゴール						

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R4年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 市の公共施設における温室効果ガス排出量	t-CO ₂ /年	29,103	28,812 20,186	28,521 22,103	28,320	27,939	27,648	129.0%	125.1%
② 大村湾のCOD値	mg/L	2.0	2.0 2.4	2.0 2.0	2.0	2.0	2.0	100.0%	100.0%
③ 環境講座・イベントへの参加者数	人/年	977	1,000 510	1,000 494	1,000	1,000	1,000	49.4%	49.4%
④									
⑤									

施策達成状況の説明

- ①市公共施設からの温室効果ガス総排出量は、前年度比9.5%の増となったが、基準年度(令和元年度)比は2.4%の減となり目標を達成できた。
※令和3年度は、環境センター火災により一般廃棄物の焼却量が大幅に減少している。
- ②大村湾のCOD値(化学的酸素要求量)は、測定地点17か所のうち、環境基準適合となった地点は増加(適合地点が2か所から9か所)となり、平均値は2.0mg/Lで目標値2.0mg/Lを達成することができた。
- ③新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からのイベント参加人数の制限やリパーウォッチングの1会場が令和2年7月の豪雨により使用できなかったことなどにより、目標達成はできなかった。

施策経費

(単位:千円)		R4年度 決算	R5年度 予算	R6年度 見込	特記事項
内訳	事業費	15,758	18,819	15,608	
	国庫支出金	0	0	0	
	県支出金	1,382	1,878	1,851	
	地方債	0	0	0	
	その他	6,894	13,741	5,262	
	一般財源	7,482	3,200	8,495	
	人件費	12,472	13,436	—	
フルコスト	28,230	32,255	—		

施策の概要（細施策）

200101	地球温暖化対策の推進	市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を推進するため、家庭生活や企業活動における省エネルギー活動の普及啓発や建築物の省エネルギー化を促進します。 また、公共施設については、再生可能エネルギー等の導入や活用を促進するとともに、市民や事業者に対し、普及啓発を行います。
200102	豊かな自然環境の保全	大村湾や多良山系などの豊かな自然環境を守るため、水源かん養機能や土砂災害防止機能などを持つ森林・農地の保全を推進します。 また、県、大村湾流域市町等で組織する「大村湾をきれいにする会」との連携を図りながら、大村湾の環境保全に努めます。
200103	環境保全意識の醸成	市民や事業者が環境についての理解を深め、自発的な環境保全活動の実践につながるよう、啓発を行うとともに、大村湾や多良山系など、自然環境を活かした環境学習を開催します。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

- (地球温暖化対策の推進)
 - ・市公共施設における温室効果ガスの排出量は、様々な取組により減少傾向にあるが、今後もゼロカーボンシティの実現に向け、公共施設等の建て替え、新築、増改築時等において積極的に再生エネルギー等の導入や省エネルギーの推進を行う必要がある。
- (豊かな自然環境の保全)
 - ・大村湾の浄化対策は、県が中心となって様々な施策を推進しているが、大村湾の多くの地点でCOD値は基準値(2.0 mg/L)超過が見られており、貧酸素水塊等も毎年発生している状況にある。
- (環境保全意識の醸成)
 - ・小中学生については、環境学習を新たに設けることは学校とのニーズが一致しない限り、限られた授業数の中で取り組むことは難しい。大村湾ウォッチング等は、屋外で行うイベントのため天候に左右される。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

- (地球温暖化対策の推進)
 - ・公共施設における温室効果ガスの総排出量の削減に向けエネルギー使用料の「見える化」や長崎県が推進しているスマートムーブ（エコドライブ等）の普及に取り組んでいく。
- (豊かな自然環境の保全)
 - ・県や沿岸5市5町等で構成する大村湾をきれいにする会（会長：大村市長）で、引き続き環境省、農林水産省、国土交通省に対し、貧酸素水塊の改善、浅場の造成、海洋生物の生息環境の改善等の具体的な対策について要望を行う。
- (環境保全意識の醸成)
 - ・教育委員会等と連携をとり、対象となる小学生によりわかりやすく、内容を深めた環境学習を行う。
 - ・県・環境保健研究センターと協働で行う環境イベントを開催する。
- (水質浄化、CO2削減の推進)
 - ・企業版ふるさと納税の寄付金を活用して、大村湾の水質浄化及びCO2吸収・固定化を図る事業に取り組む。

令和6年度新規事業

	事業名	担当課	令和6年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				